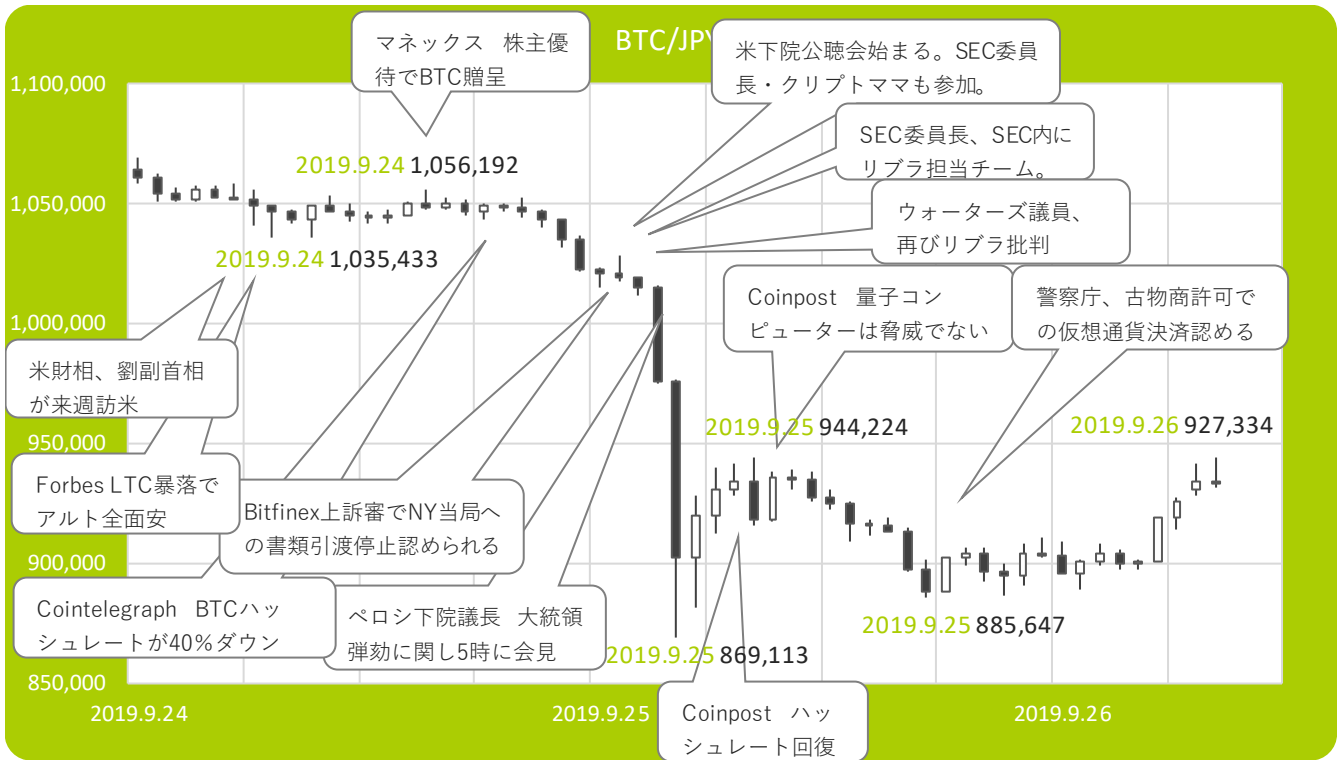


【ビットコイン急落の引き鉄は米大統領弾劾？ 売り材料一巡か】



通貨	BTC	ETH	XRP	BCH	LTC
価格	918,995	18,507	26.8	24,835	6,219
前日比	▼0.1%	+2.1%	+3.4%	+1.4%	+0.1%

Review

トランプ弾劾騒動も影響したか

昨日のBTC相場は朝方に大きく下落、その後は若干の反発を見せつつ落ち着きどころを探る展開が続いている。FOMCやBakktの開始といった材料でレンジブレイクに失敗、上値を重くしていたところにBakktの出来高の低調が伝わり、更にハッシュレートが4割低下したというショッキングなヘッドラインが引き鉄を引いた形で急落したBTCだが、直接のきっかけは日本時間午前3時ころにペロシ米下院議長がトランプ大統領の弾劾に関する記者会見を開くとし、弾劾手続き入り確実と見られて米株・米ドル・米金利が急騰、既にアルトコインが崩れ始めていたBTC相場のダメを押した格好だった。しかし、民主党が優勢な下院が訴追に成功しても、実際に裁判が行われる共和党が優勢な上院で2/3の賛成を得る事は事実上不可能としてと他の市場は値を戻したが、BTC相場は戻しきれず、とはいえ安値更新も出来ず、安値圏での揉み合い推移となっている。

Outlook

売り材料も一巡

本日のBTC相場は現水準で揉み合いながら徐々に底値を固める展開を予想する。トランプ大統領の弾劾騒ぎを市場は金利・株・ドルともに上昇とアメリカ買いで反応したが、その可能性が低いと見るや値を戻した。こうした中、大統領罷免をBTC売りで反応したのは興味深い。FRBへの介入姿勢、更には民主党支持層の逃避需要をBTCの買い材料とみているのか。ハッシュレートは既に回復、弾劾騒動もWSJ等は党派的な動きに過ぎないと断じている。量子コンピューターもまだ脅威でないといわれるなど不安材料も後退、後は市場心理の回復を待つだけか。

著作権表示©2019 FXcoin 株式会社

本レポートは一般的な情報提供を目的に作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。レポート内のいかなる情報又は意見も、仮想通貨の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。本レポートは信頼できるとされる情報に基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではありません。本レポートは予告なしに内容が変更されることがあります。本レポートは著作物であり、著作権法により保護されております。当社の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家へ配布することはできません。